

世界の国を知る 🌐 世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 アゼルバイジャン共和国 



【表紙の写真】

【右上】

アゼルバイジャンの少年



奥村 諭

【左下】

乙女の望楼

高さ29.5mの石壁に包まれた要塞。
伝説によると、かつてバクーを治めていたモンゴル人王が自分の娘に言い寄り、それを嘆き悲しんだ娘がカスピ海に身を投げたとか。



バクー国立大学極東言語学科日本語講座
ウェブサイト

Contents

- 01 こんな想いを込めました!
- 02 こんな教材です!
- 03 なぜアゼルバイジャン共和国?

第1章 アゼルバイジャンってどんな国?

＝多様な人々、多様な文化が
混在する”燃える”国＝

- 05 アゼルバイジャンってどんな国?
- 09 アゼルバイジャンにまつわるウソ?ホント?
- 11 不思議発見! これ、なあに?
- 13 クイズ タ〜イムショック カスピ海!
- 15 ちょっとブレイク 〜ノーベル賞誕生秘話〜

第2章 ヘ〜! アゼルバイジャンと日本

- 17 夢の国「日本」?
- 19 フォトギャラリー 〜バクーの街角〜

第3章 一緒に考えよう! こんな課題

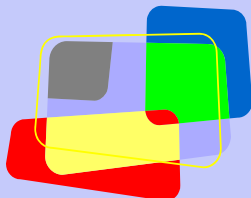
- 21 もしも石油がなくなったら
- 23 国って何だろう?国境って何だろう?
- 25 ちょっとブレイク
〜未承認国家ナゴルノ・カラバフと
ナヒチェヴァン自治共和国〜
〜旧ソビエト社会主義共和国連邦から独立した国〜

第4章 そして未来へ

- 27 『多文化共生社会』ってどんな社会?
- 28 号外・号外 20年後の新聞です
- 29 多文化共生社会と地球的課題

★参考資料★

- 31 目で見るアゼルバイジャン
- 33 アゼルバイジャン地図
- 35 参考文献・データ等の出典
- 35 ご協力いただいた方
- 35 2008年度教材作成チーム



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい/つなげていきたい/
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



● 国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。『国際交流』は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

● 人の顔が見える教材をつくりたい！

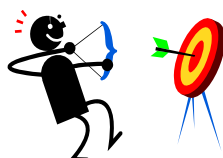
「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ〜。こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

● 世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさん問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくるとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

● 未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起きていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起きていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

●ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学生高学年以上を対象としています。本書自体は、ファシリテーター（参加型プログラムの進行役）や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

●参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえそうなプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にいただければと思います。

●きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、アゼルバイジャンのほんの一面です。本書だけでアゼルバイジャンのすべてがわかるわけではありません。アゼルバイジャンに親しみを感じ、関心をもってもらうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

●使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。参加者に合わせて、どんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

●カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、（財）愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または（財）愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。

●本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。
なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



参加型のプログラムです。
必要に応じてコピーし、配布してください。



プログラムで模造紙を使います。



プログラムに関する説明です。
ファシリテーター・先生用です。



プログラムでマジックを使います。



プログラムのねらいです。



プログラムで付箋を使います。



プログラムに使う資料です。
必要に応じてコピーし配布してください。



プログラムでA4用紙を使います。
裏紙等を活用してください。



データ等の出典です。



コピーし、カード等に切り離して
使ってください。



写真の撮影者です。



なぜアゼルバイジャン共和国？

始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国フレンドシップ事業」

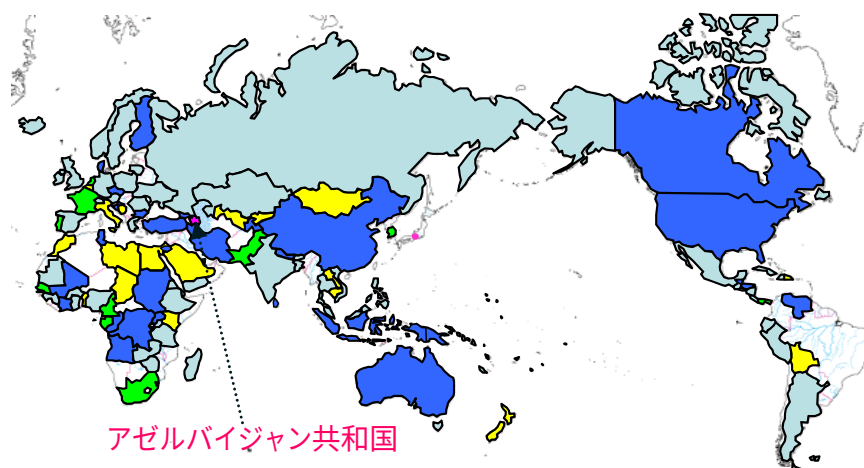
2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国（日本を除く）のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国フレンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけではなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国フレンドシップ事業」をさらに広げ、
つなげていこうと作成したのがこの教材です。
そして、**アゼルバイジャン共和国**のホームシティは、**七宝町**でした。



愛知万博／
コーカサス共同館



アゼルバイジャン共和国

- 本教材
- 2009年度教材作成予定の国
- 2008年度教材作成の国
- 2007年度教材作成の国
- 愛知万博公式参加国

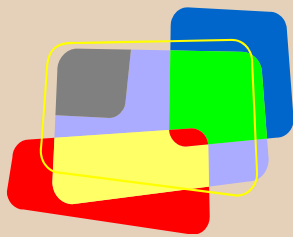
2009年度作成 予定 (32カ国)	アゼルバイジャン共和国 アンゴラ共和国 アメリカ合衆国 イラン・イスラム共和国 インドネシア共和国 ウガンダ共和国 オーストラリア連邦 カナダ グルジア コートジボワール共和国 コンゴ共和国 サントメ・プリンシペ民主共和国 スーダン共和国 スリランカ民主社会主義共和国 タジキスタン共和国 中華人民共和国 チュニジア共和国 デンマーク王国 トルコ共和国 ネパール連邦民主共和国 パプア・ニューギニア独立国 フィンランド共和国 ブルガリア共和国 ベネズエラ・ボリバル共和国 ベリーズ ボスニア・ヘルツェゴビナ ホンジュラス共和国 マーシャル諸島共和国 マリ共和国 ヨルダン・ハシミテ王国 リトアニア共和国 ルワンダ共和国
2008年度作成 (20カ国)	イタリア共和国 ウズベキスタン共和国 エジプト・アラブ共和国 エルサルバドル共和国 カンボジア王国 キリバス共和国 キルギス共和国 ケニア共和国 サウジアラビア王国 大リビア・アラブ社会主義人民ジャマーヒリーヤ国 チャド共和国 ドミニカ共和国 ニュージーランド フィジー諸島共和国 ベナン共和国 ベルギー王国 ボリビア共和国 モロッコ王国 モンゴル国 ラオス人民民主共和国
2007年度作成 (10カ国)	オランダ王国 カメルーン共和国 ガボン共和国 セネガル共和国 大韓民国 パキスタン・イスラム共和国 パナマ共和国 フランス共和国 ポルトガル共和国 南アフリカ共和国



第1章

アゼルバイジャンってどんな国？

＝多様な人々、多様な文化が
混在する“燃える”国＝



アゼルバイジャンってどんな国？

① ところで、みなさんはアゼルバイジャンがどこにあるか、わかりますか？

① 下の地図で、アゼルバイジャン共和国はどこにあるでしょう？



② アゼルバイジャン共和国は、黒海とカスピ海に挟まれたコーカサス地域に位置します。コーカサス地域は、コーカサス山脈によって南北に分断され、北部はロシア連邦、南部はアゼルバイジャン、アルメニア、グルジアの各共和国が占めています。次のカードは、南コーカサス3国の首都について書かれたものですが、どれがアゼルバイジャンのカードだと思いますか？

A この都市名は、現地語で「あたたかい」を意味する「トビリ」に由来し、温泉に関係していると言われています。市街は、クラ川に沿って発展しました。川下に旧市街が広がり、右岸に砦が、左岸には特色ある街区が広がります。アバノと呼ばれる温泉浴場も位置します。



B カスピ海の強風が名物となっている街で、都市名も「風の町」を意味します。1800年代、石油産業の発展を背景に一躍国際都市となりました。町の中心には、世界遺産に指定されている旧市街があり、カスピ海交易の港町として栄えた建造物が残っています。



C ソ連時代、ロシア帰りの建築家タマニヤンの設計により近代的な町並みに整備されました。町の中心に共和国広場があり、そこから放射状に道路がのびています。多くの建物が桃色がかった色をしているため、「バラ色の街」と呼ばれています。



③ 次の写真は、アゼルバイジャンの写真です。写真を見て、アゼルバイジャンはどんな国だと思いましたか？
グループで感想を話し合ってみましょう。

A



B



C



D



E



F



G

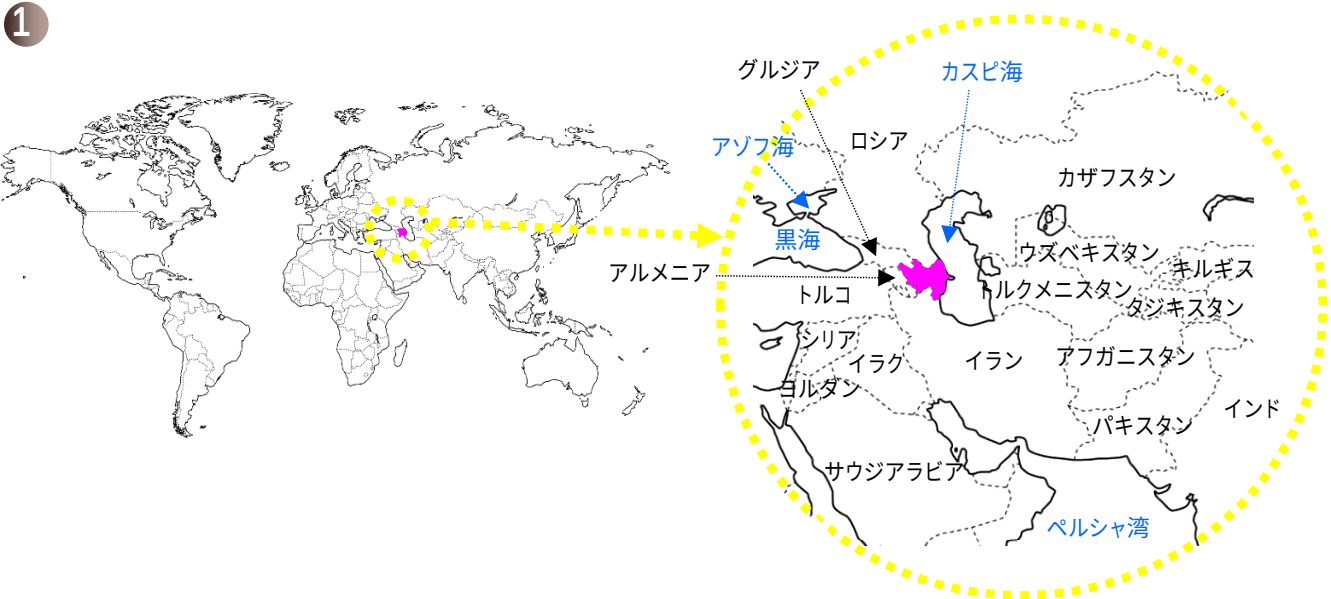




P.5～6のこたえと解説です。



まずはアゼルバイジャンという国の概要をざっくりと把握しましょう。



アゼルバイジャン共和国は、黒海からカスピ海までの800km以上に広がるコーカサス地方の南東部に位置しています。北部には、コーカサス山脈が連なり、周りは山岳で囲まれています。北はロシア、北西はグルジア、西はアルメニア、南はイランと国境を接し、飛び地としてアルメニアにナヒチェヴァン自治共和国、領土内にナゴルノ・カラバフ自治州があります。

アゼルバイジャンの国土の半分以上が山岳地帯で、カスピ海に向かって低地になり、クラ川沿いにクラ・アラクス平野が広がっています。カスピ海に面した北部地域は温暖湿潤気候、南部地域はステップ気候ですが、内陸部は乾燥し、標高によりさまざまな気候が見られます。そのため、自然も豊かです。

ヨーロッパとアジアの交差点コーカサス地方 ～温泉と風とバラ～

② **B** がアゼルバイジャンの首都バクーについて書かれたカードです。

A は、グルジアの首都トビリシ、**C** は、アルメニアの首都エレヴァンについて書かれています。

コーカサスは、旧ソ連のヨーロッパ部分の最南端で、西はアゾフ海と黒海、東はカスピ海に挟まれた地域です。コーカサスは英語からきており、ロシア語ではカフカースといいます。コーカサス（カフカース）は、古代スキタイ語のクロウカシス（白い雪）から来ていると言われています。コーカサス地方は、中央を東西に走るコーカサス山脈により、北コーカサスと南コーカサスに分かれます。北コーカサスはロシア連邦領の諸共和国からなり、南コーカサスは、アゼルバイジャン共和国、アルメニア共和国、グルジアの3カ国を指します。全体的に、山が多く、さまざまな言語、文化、宗教をもつ民族が複雑に入り組んで暮らしており、「諸民族の山」「言語の山」と呼ばれています。

日本でコーカサスと言うと、ヨーグルトの名産地、長寿の国、格闘技の強い地域、美人 (!) の多い地域…というイメージを持つ人が多いかもしれませんね。

火の国？ アゼルバイジャン

③ [P.6写真]

A シェキにあるアルバニア人の教会

B カスピ海

C 首都バクー

D グバからフナルクへ行く途中のチェック村

E 標高約3000mの山の上にあるフナルク

F バクー近郊にあるヤナル・ダグ。山の斜面から自然に湧き出す天然ガスが燃え続けています。

G バクーには油田やぐらがいっぱい

西部

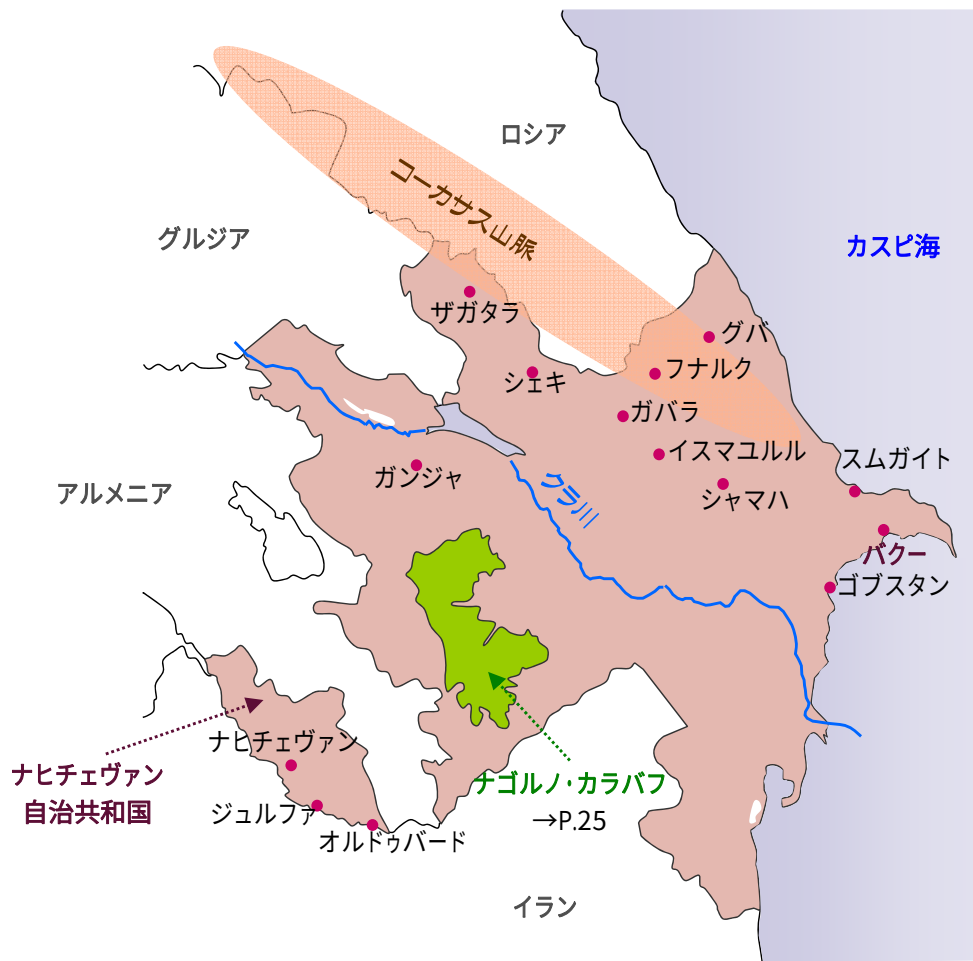
19世紀に帝政ロシアがドイツ人農民の入植を奨励し、そこから発展した町が多い地域。ガンジャは国内第2の都市。ロシア革命後のアゼルバイジャン民主共和国(1918～20年)の最初の首都。町並みもロシア風です。ガンジャの南60kmほどには、国内で最も美しいとされるギョイ・ギョル、マラル・ギョルの2つの湖があります。

北西部

緑の豊かな地域。シャマハは歴史的に重要な都市。絨毯とワインの名産地です。ガバラには、紀元前3世紀から18世紀にかけての都市遺跡があります。シェキは、コーカサス山脈のふもとに位置する町で絹の名産地。

北部

文化的にはロシアに近く、保守的な地域。グルムズ・ガサバ(赤い村)という地区は山岳ユダヤ人の居住地区。近隣のフナルク村は北カフカス系の民族が多く、特にフルナク人は極少民族です。



ナヒチェヴァン自治共和国

アゼルバイジャンの飛び地。ナヒチェヴァンの語源はアルメニア語で「ノアが最初に降り立った土地」を意味する語であると言われています。かつては、アルメニア系住民が半数以上を占め、現在もアルメニアはアルメニアの土地であると主張しています。アゼルバイジャン本土とは空路のみで結ばれています。(→P.25)

首都バクー

アゼルバイジャン語ではバキュ。コーカサスで最も大きな町で、シルクロードの中継地として栄え、城壁に囲まれた旧市街には、中世の町並みが色濃く残り、「乙女の望楼」(表紙写真)、「シルヴァン・シャフ・ハーン宮殿」、近郊にある無数の洞窟が点在するゴブスタンは世界遺産に登録されています。バクー(ペルシャ語で「風の町」)の名が表すように、カスピ海から強い風が吹きつけてくることでも有名です。

アゼルバイジャンにまつわるウソ？ホント？

① アゼルバイジャンについて書かれた次のカード。さて本当のことでしょうか？

① アゼルバイジャンの首都「バクー」は、「火の町」という意味です。



② アゼルバイジャンが位置するコーカサスは、「ヤギ」を意味します。



③ アゼルバイジャンは、ゾロアスター教が生まれたところです。



④ アゼルバイジャンでは、米は食べません。



⑤ アゼルバイジャンは、イスラム教徒が多い国なので、飲酒は禁止されています。



⑥ アゼルバイジャンは、オリンピック開催地に立候補したことはありません。



⑦ アゼルバイジャンの教育制度は、日本と同じ6・3・3・4制です。



⑧ アゼルバイジャンには、石油大学という大学があります。



⑨ アゼルバイジャンには、自治共和国があります。





- 1** **×**
ウソ バクーはペルシャ語で「風の町」という意味。カスピ海の強風が名物の一つになっています。ちなみに、アゼルバイジャンは「火の国」と呼ばれています。首都バクーには、天然ガスが豊富に埋蔵されており、そのガスが近郊の砂漠などで地表から噴出し、空気や砂などの摩擦によって火がつくとずっと燃え続けることになります。以前はあちこちで燃えている所がありましたが、現在残っているのはヤナル・ダグ(→P.6)など数箇所のみ。
- 2** **×**
ウソ コーカサスの語源はいろいろありますが、最も有力なのは、「白い雪」を意味する古代スキタイ語のクロウカシスから来ているという説です。「コーカサス」というのは、ギリシア語の「カウカソス」の英語発音をカタカナに直したもので、ロシア語発音に従えば、カフカス、カフカース(あるいはカフカズ、カフカーズ)となります。
- 3** **○**
ホント **1**にあるように、アゼルバイジャンでは、バクーを中心にあちこちで地表が燃えていました。そうした永遠の火を見て、火を崇拜するゾロアスター教(拝火教)が生まれたのです。
- 4** **×**
ウソ アゼルバイジャンでも米を食べます。アゼルバイジャンの料理はイランやトルコの料理に似ており、羊や仔牛の肉と野菜、果実がよく食べられます。ひよこ豆とじゃがいもなども定番料理のひとつです。また、ひき肉や串焼きのケバブもご馳走のひとつです。パンが日常的に食べられていますが、米もよく食べられます。ブドウの葉で米とひき肉を包んだドルマという料理は、アゼルバイジャンでも代表的な料理です。
- 5** **×**
ウソ アゼルバイジャンはイスラム教徒の多い国ですが、飲酒については特に禁止されていません。ワインの発祥地の1つとも言われ、現在でもワインが生産されています。
- 6** **×**
ウソ バクーが2016年オリンピックに立候補しましたが、残念ながら、2008年6月の第1次選考に残ることができませんでした。そのとき立候補したのはバクーのほかに、シカゴ(アメリカ合衆国)、ドーハ(カタール)、リオデジャネイロ(ブラジル)、マドリード(スペイン)、プラハ(チェコ)、東京(日本)。1次選考に残ったのはシカゴ、リオデジャネイロ、マドリード、東京で、2009年10月に開催地が決定します。
- 7** **×**
ウソ 4・5・2制です。小学校(6歳～9歳、1年生～4年生)、基礎教育[中学校](10歳～14歳、5年生～9年生)、高校(15歳～16歳、10年生～11年生)、大学(17歳～21歳、1年生～4年生)となっており、義務教育は6歳～14歳(1学年～9学年)です。その年の11月までに満6歳になる子どもは、同年の9月に小学校1年生になります。授業は、アゼルバイジャン語、ロシア語で行われ、授業料は無料です。休みは、土曜日と日曜日。授業は、だいたい午前9時から午後2時で、給食はなく、昼食が必要なときは、各自で用意します。
- 8** **○**
ホント アゼルバイジャン国立石油大学(Azerbaijan State Oil Academy)があります。アゼルバイジャンの一流大学のひとつで、多くの人材を輩出するほか、世界中から石油に関する専門的な技術や経済などを学びに来ています。
- 9** **○**
ホント 自治共和国とは、独立国の中に設けられる地方自治政体のうち、通常の州・地区・県・市などに比べて、より広い範囲での自治権を持つ「国家内国家」のことです。旧ソ連の国に多いのですが、アゼルバイジャンにもナヒチェヴァン自治共和国があり、大統領も存在します。(→P.25)



ゾロアスター教寺院



バクー国立大学極東言語学科
日本語講座ウェブサイト



ドルマ



ウィキペディア

不思議発見！これ、ななに？

① アゼルバイジャンの写真の中に不思議なものの発見!!

さて、次の写真、いったい何だと思いますか？

A あちこちの家で飾られているこの草、ななに？



B このドロドロ、ななに？



C この白い山、ななに？



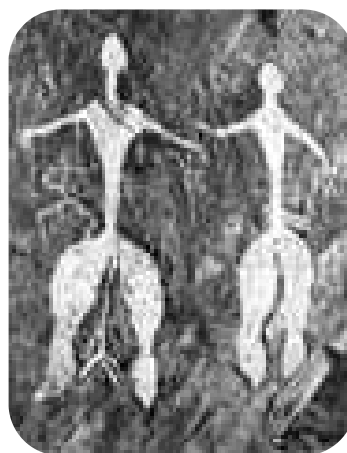
D このピンクの水、ななに？



E このプニプニ、ななに？



F この人たち、ななに？





A 「ウザリク」という草だそうです。

アゼルバイジャンに限らず、多くの文化で信じられている「邪視」という迷信があります。悪意を持って相手をにらみつければ呪いをかけることができるという考え方です。そのため、人々は、邪視、特に人からねたまれないように気をつけます。また、何かよくないことが起こると「邪視」のせいと考えます。

ウザリクは自分と家族をその悪い目から守ってくれると信じられています。この草を焼いてにおいをかぎ、みんなの頭の上で回します。

B バクーの南西、約50kmにあるゴブスタンのさらに南にある泥火山です。地下から噴出する天然ガスによって泥が泡立ち、まるでボコボコと煮えたぎっているようにみえますが、火山活動とは無関係で熱くはありません。ガス田を探す目印となるそうです。こうした泥火山は、アゼルバイジャンに多数あるほか、黒海沿岸、インドネシア、台湾、アラスカ、メキシコなどにも点在します。日本にも北海道に新冠泥火山（にいかっぷでいかざん）があります。

C バクーの北西に位置する湖マサズイル・ギュル。湖の水に豊富に含まれるヨード成分によって、表面がピンク色に見えます。その岸に山になっているのは塩です。この湖で取れる塩は上質で高価だそうです。

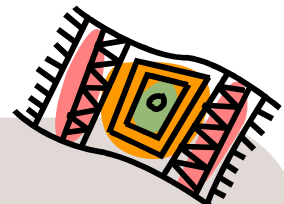
E ご存知「ケフィア」の元となるケフィアグレインです。ケフィアはこのケフィアグレインと乳酸菌が発酵してできる乳飲料で、ヨーグルトに似ています。コーカサス地方が発祥の地と言われ、日常的に飲まれています。各家庭で手作りにつくられ、「家庭の味」があります。コーカサスに元気なお年寄りが多いことから、健康にいいと日本でも注目されました。ケフィアグレインは、ちょっと硬くなったマシュマロのような感じ。イスラム教徒の間では、「神様からの贈り物」と言われています。

F バクーの南西、約60kmのところに広がる石器時代からの遺跡ゴブスタン。ここでは、石器時代の人たちが描いたといわれるさまざまな岩画がとてたくさん見つかっています。岩画には、人や動物、狩猟や儀式、船などが描かれており、当時の生活を垣間見ることができます。



ちょっとブレイク

～キリムのあるくらし～



アゼルバイジャンのあるコーカサス地域や中東はペルシャ絨毯で有名ですが、ペルシャ絨毯よりも歴史の古い織物として、キリムがあります。キリムというのは、トルコ語で平織り全般をさし、（日本では、綴れ（つづれ）織りといいます。）遊牧民の特に女性が、自分たちの生活用具として作った織物のことで、テントで暮らす遊牧民や牧畜民の生活必需品であり家具なのです。テントの中の敷物、寝具、間仕切り、壁飾り、ゆりかご、塩入れ、衣類や穀物を入れる収納袋など、あらゆる用途に使われてきました。キリムとは、遊牧民にとって家畜同様、大切な財産だったのです。キリムは、アフガニスタンなどの東アジア、ウズベキスタン、トルクメニスタンなどの中央アジア、トルコ、イラン、イラクなどの中東、アゼルバイジャン、アルメニアなどのコーカサス地方、モロッコ、エジプトなどの北アフリカにかけての草原地帯の遊牧民や山岳地帯の牧畜民に織られています。地域によって呼び方が異なります。日本では、「キリム」を使うことが多いのですが、例えば、イランでは「ギリム」、アフガニスタンでは「ケリム」、そしてコーカサス地方では「パラス」といいます。



クイズ タ〜イムショック カスピ海！

❓ アゼルバイジャンは、カスピ海に接しています。
実はカスピ海。アゼルバイジャンにとって、とても重要なんです。

① 右の写真はどこの風景でしょう？

そう、カスピ海です。
P.5の世界地図で位置を確認しましょう。
カスピ海はアゼルバイジャン語やペルシャ語では「ハザル・デニズ」といわれており、「神（アッラー）の海」という意味です。



奥村 諭

② では、今からカスピ海に関するクイズを10問出します。解答用紙（→P.15）に答えを書き込んでください。
ただし、1問10秒。10秒経ったら、次の問題を読み上げますので注意!!
では、始めます。
クイズ タ〜イムショック カスピ海!!

スタート



③ 答えを聞いて、どんな感想を持ちましたか？
一番驚いた質問はどれでしたか？ それはどうしてですか？



- A** ホントです。カスピ海の面積は374,000km²で世界一大きい湖です。2番目に大きいのがスベリオル湖(アメリカ合衆国)で82,367km²なので、ずば抜けて大きいということですね。ちなみに日本で一番大きい琵琶湖は670km²で、カスピ海の560分の1です。
- B** ウソ。カスピ海の面積が374,000km²、日本の面積が377,900km²なので、カスピ海はほぼ日本がすっぽり入る大きさということになります。
- C** まさか…もちろんウソです。カスピ海は塩湖です。
- D** ホントです。カスピ海には多くのチョウザメが生息し、その卵がキャビアとして加工されています。チョウザメの種類によって卵の大きさや色が違い、その価値も異なるのですが、もっとも高いといわれているのがペルーガ(オオチョウザメ)のキャビアです。キャビアといえば、ロシア産、イラン産といろいろありますが、もしかしたら同じカスピ海産だったりするのかもしれないね。
- E** ウソ。中国では「裏海(りかい)」と呼びます。
- F** ノーベルです。ノーベル家の三男アルフレッドはダイナマイトの発明で名を残しましたが、長男と次男はビジネスで成功しました。ノーベル・ブラザーズの石油生産会社は成功し、「19世紀を通じて、ビジネスが勝ち取った最も大きな勝利のひとつ」と言われました。(→P.15)
- G** ホント。カスピ海の固有種カスピカイアザラシが湖や湖に流れ込む川に生息しますが、油田開発の汚染による大量死が問題になっています。カスピ海にはこのほか、サケ、スズキ、ニシン、コイ、カメ、ネズミイルカなど多くの生物が生息します。
- H** これはお約束の質問ですね。8問目です。
- I** ウソ。北からのボルガ川、ウラル川、エンビ川、東からのゴルガン川とアトレク川、西からのクラ川など多くの川が流入していますが、湖から流出する川はありません。
- J** これは難しい問題です。というのも、「海」か「湖」かで周辺の諸国がもめているのです。海なら、沿岸の国によってカスピ海は分割されますが、湖なら共同管理になります。カスピ海には豊富な資源があるため、その資源の権利をめぐるもめているのです。現在は、海上、海中については共同開発、海底資源については分割するという妥協案が協議されています。ちなみに、「海」を主張しているのは、アゼルバイジャン、カザフスタン、ロシア、「湖」を主張しているのはイランです。





ちょっとブレイク

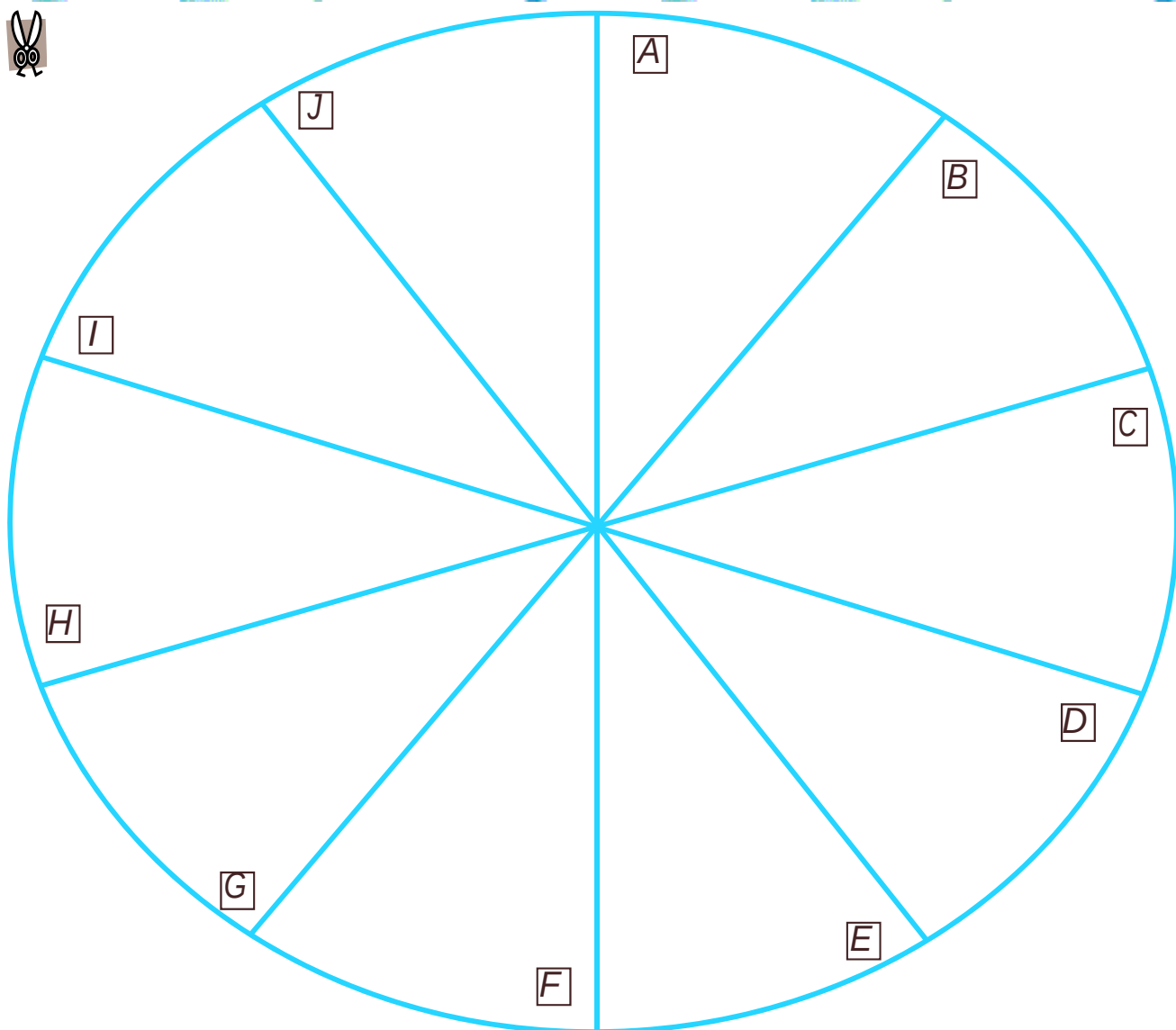


ノーベル賞誕生秘話

ダイナマイトの発明で有名なアルフレッド・ノーベルはスウェーデン人ですが、父親イマヌエル・ノーベルの軍事工場建設に伴ってロシアに移住しました。アルフレッドは4人兄弟の3番目で、弟は爆発事故で亡くなっています。彼自身は化学の才能で有名ですが、次男のルドヴィッヒ・ノーベルは経営の才に長け、失敗した父親の軍事工場を立て直します。長男ロバート・ノーベルは、その軍事工場で使うクルミの木を求めてコーカサスにやってきますが、そこで石油に魅せられ、製油所を手に入れます。やがて、ルドヴィッヒがロバートの事業をのっとり、本格的な石油産業に着手。石油の輸送に技術革命を起こすとともに、アルフレッドが発明したダイナマイトで地層に穴をあけ、大規模な石油開発に取り組みます。そうした一連の技術などで、ノーベル・ブラザーズの石油生産会社は他の石油会社をおさえ最も利益をあげる企業へと成長しました。

しかし、1888年ルドヴィッヒは休暇中に心臓麻痺で亡くなり、その死亡記事が世界中の新聞に掲載されました。ところが、まちがって「ダイナマイト王アルフレッドが死去した」と伝えていた記事もあり、そこには「死の商人」「人を殺し傷つけるものを編み出して莫大な財産を築いた」などと書かれていました。それを読んだアルフレッドは遺書を書き換え、自分の遺産で人類に尽した功績を讃えるノーベル賞を設立し、平和に貢献した人間として自分の名を残そうとしたのです。

これが現在も毎年話題になるノーベル賞なのです。

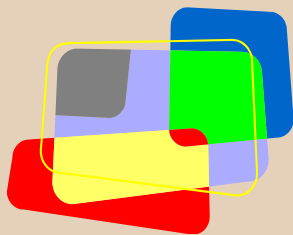




第2章

へえ～！

アゼルバイジャンと日本



夢の国「日本」？

① 日本人にとって、アゼルバイジャンは残念ながら馴染みの薄い国ですが、アゼルバイジャンにとって日本は「あこがれ」の国とか…。意外とつながりがあるんです。

① アゼルバイジャンにも「武道館」があります。



② アゼルバイジャンを始めとする旧ソ連各国で盛んに行われている「サンボ」というスポーツは柔道の影響を受けています。



③ ビザの問題などもあり、アゼルバイジャンに日本の石油関係以外の企業の工場が作られたことはありません。



④ アゼルバイジャンで日本の文学は、残念ながらまったく読まれていません。



⑤ アゼルバイジャンでは、日本語教育はまったく行われていません。



⑥ アゼルバイジャン難民を支援した功績で2006年UNHCR (国連難民高等弁務官事務所) から賞を与えられた日本人がいます。



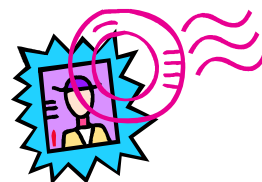
⑦ 現在、アゼルバイジャンに日本大使館はありません。グルジアの大使館が兼務しています。



⑧ アゼルバイジャンで日本に関する報道はほとんどされません。



⑨ アゼルバイジャンでは日本との友好を称える切手が発行されています。





P.17のこたえと解説です。



アゼルバイジャンと日本の関係を通して、アゼルバイジャンに親近感を持とう！

- 1 **○ ホント** 首都バクーにあるのです。その名もずばり「BUDOKAN」。立派な建物で、入口には日本のかぶとの銅像が飾られているそうです。アゼルバイジャンのあるコーカサス地方は、格闘技が強い地域ということで有名ですが、柔道や空手も大人気です。2008年の北京オリンピックでは、アゼルバイジャンのマムリ選手が優勝し、柔道で初の金メダルを手に入れました。
 - 2 **○ ホント** 「サンボ」は、旧ソ連政府が多民族国家ソ連を安定的に統一するため、スポーツも統一しようと、国内各地の民族格闘技のいいところを集めてつくった格闘技です。アゼルバイジャンのグレッシュなど旧ソ連の23の民族格闘技に加え、日本の柔道やモンゴル相撲などの要素が取り入れられています。サンボの名前の由来は「武器」を「持たない」「自己防衛」というロシア語の頭文字をとったものといわれていますが、いろいろな説があります。今では、世界中に広まっており、国際サンボ連盟や、日本サンボ連盟も設立されています。
-
- 日本サンボ連盟ウェブサイト
- 3 **× ウソ** 旧ソ連時代、経済の5カ年計画が策定され、「国民生活の向上」が目標に掲げられていました。その目標を達成する中で、FIAT社指導の自動車工場と東芝指導のエアコン工場の建設が重要な事業として進められ、バクーにその工場が建設されていたのです。日本製のエアコンへの信頼はとて高く、アゼルバイジャンが独立した初代大統領は、立ち上げ当初エアコン工場の職長だったそうです。この事業を通して、石油関連以外にほとんど工業がなかったアゼルバイジャンに最新の技術や新しい考え方を導入した日本のイメージはとて高くなったといわれています。
 - 4 **× ウソ** アゼルバイジャンを始めとする旧ソ連地域で、日本の作家は大人気です。古くは安部公房や大江健三郎、川端康成、芥川龍之介、太宰治、三島由紀夫などが、最近では村上春樹や村上龍が「ダブル村上」として人気が高く、翻訳がよく売られています。
 - 5 **× ウソ** 経済大国日本へのあこがれから、日本語学習もとて人気があります。バクー大学など国立大学では日本語を教えていますし、日本側からも日本語教師を派遣したりしています。
 - 6 **○ ホント** 札幌に本社のある富士メガネの社長金井昭雄（かねいあきお）氏が、「ナンセン難民賞」を授与されました。金井氏は、社員とともにアゼルバイジャン、アルメニア、タイ、ネパール、カンボジアなどの難民キャンプで視力検査やメガネの寄贈活動を続けてきました。難民に限らず、アゼルバイジャンでメガネは高価なもので、視力検査を行って、度のあったメガネをつけている人はほとんどいないといっても過言ではありません。ナンセン難民賞は、世界の難民支援活動に貢献した個人や団体に贈られる賞で、日本人の受賞は初めてでした。
 - 7 **× ウソ** アゼルバイジャンにもグルジアにも日本大使館はあります。
 - 8 **× ウソ** いえいえ、アゼルバイジャンでは日本についての報道が多く、日本についての特集番組もよく組まれています。日本人にとて非日常的な未来の世界が「日本の日常的な姿」として放送され、「夢の国」としてイメージされています。日本の本当の生活とはかけ離れていますが、それでも日本ではアゼルバイジャンの報道がほとんどされないことを考えると、ちょっとうれしいですね。
 - 9 **○ ホント** 日本とアゼルバイジャンが外交関係を樹立して15周年の2007年に両国の友好を記念した切手がアゼルバイジャンで発行されました。切手には、日本の支援による発電所とトラクターの絵柄が描かれています。





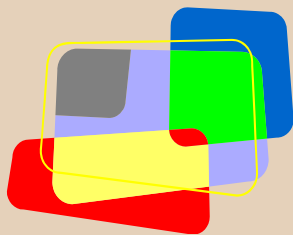
奥村 諭 (写真すべて)





第3章

一緒に考えよう！こんな課題



もしも石油がなくなったら



石油は、今や私たちの生活に欠かせないエネルギーです。
でも、無限ではないのです。

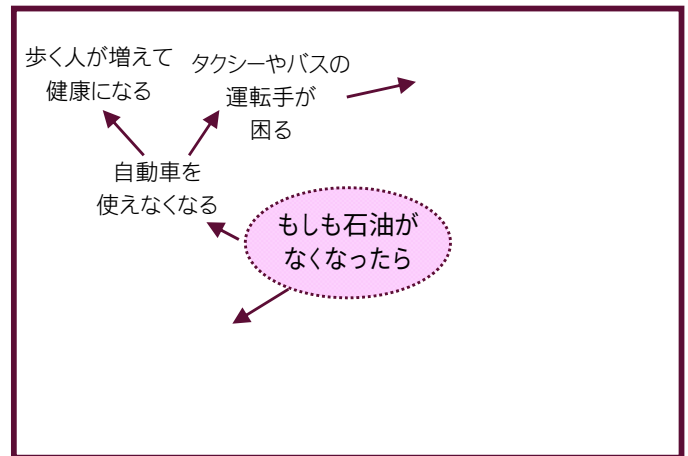
① 石油を埋蔵している国といえば、どこがあるでしょう？ 思いつく国をみんなで出し合ってみましょう。

② では、その石油はどんなもの、どんな時に使われているでしょう？

③ それではもしも、石油がなくなったら、どんなことが起きるでしょう？

グループで次のように模造紙を横に置き、派生図を描いてみましょう。

※いい面、悪い面両方考えてみましょう。



④ 派生図をみてわかるように、エネルギーのほとんどを石油に頼っている現在、石油がなくなったら、困ることがたくさんあります。だから、世界中で石油をめぐっていろいろなことが起こっているのです。アゼルバイジャンでどんなことが起こったか、資料「アゼルバイジャン石油物語」(→P.22)を読みましょう。

⑤ でも、石油がなくなってもいいこともあります。派生図のなかでいい面だと思うものを○で囲んでみましょう。どんないい面がありましたか？全員で発表しましょう。

⑥ このように、石油は私たちの生活にとって、もはや簡単には切り離せないと同時に、賢く使わなければ環境問題などの課題を引き起こしてしまうエネルギーです。実は、今のまま石油を使い続けると、約40年で世界の石油は枯渇してしまうともいわれています。さあ、どうすればいいでしょう？ グループで話し合ってみましょう。



- ① 2008年末の世界の原油確認埋蔵量は約1兆3,422億バレル。70.3%をOPEC諸国が、また55.6%を中東諸国が占めています。

原油確認埋蔵量：油層内に存在する油の総量（原始埋蔵量）のうち、技術的・経済的に生産可能なものを可採埋蔵量といい、通常原始埋蔵量の20～30%程度といわれています。その可採埋蔵量のうち、最も信頼性の高いものを「確認埋蔵量」といいます。

バレル：国際的に石油の単位はバレルを使います。1石油バレル = 42ガロン = 158.987295 リットル。
だいたい酒樽1個分にあたります。

OPEC諸国：石油輸出国機構（Organization of the Petroleum Exporting Countries）。1960年設立された石油産出国の利益を守るための組織。現在の加盟国は、イラク、イラン、クウェート、サウジアラビア、ベネズエラ、カタール、リビア、アラブ首長国連邦、アルジェリア、ナイジェリア、アンゴラ、エクアドルの12カ国。

【各国の原油確認埋蔵量】（単位：百万バレル）

サウジアラビア（266,710）、カナダ（178,092）、イラン（136,150）、イラク（115,000）、クウェート（104,000）、ベネズエラ（99,377）、アラブ首長国連邦（97,800）、ロシア（60,000）、リビア（43,660）など

 石油連盟ウェブサイト

- ② 灯油などの石油製品のほか、プラスチック、合成ゴム、アスファルトなど。また食料品や化粧品を作ったり加工したりするプロセスの中でも石油が使われています。また、そうした製品を運ぶガソリンも石油製品です。

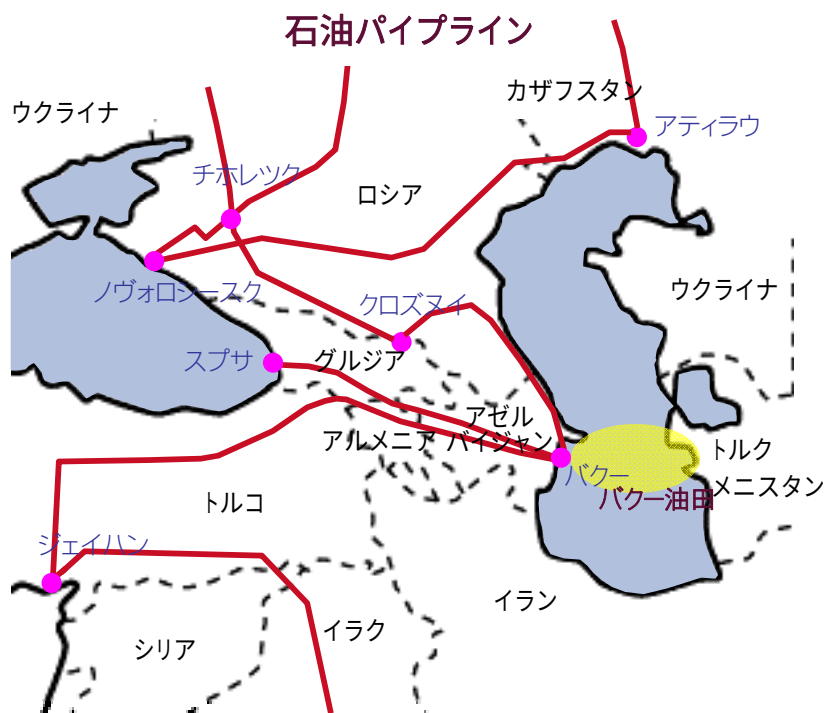
③ ⑤ ⑥

上記の通り、私たちの日常生活のあらゆる場面で石油が使われていますが、課題もあります。例えば、石油をエネルギーとして使うことによる大気汚染や酸性雨、地球温暖化などの環境問題。また、石油の枯渇。現在、バイオマス燃料などの新エネルギーの開発も進められています。

アゼルバイジャン石油物語

アゼルバイジャンに石油産業が出現したのは19世紀初めのことです。バクー油田の開発が進められ、1870年、ロシア帝国がアゼルバイジャンの石油独占を放棄して以降、さまざまな企業が開発に乗り出し、20世紀初頭、バクーは世界の原油生産量の半分近くを生産する一大油田地帯となりました。多くのオイル・バロン（石油王）も誕生し、中でもノーベル賞で有名なノーベル家と名門ロスチャイルド家は熾烈な競争を繰り広げました。（→P.15）しかし、1917年のロシア革命で石油関連施設やオイル・バロンの財産はほとんど旧ソ連政府に没収されたのです。旧ソ連時代、バクーの石油は重要視され、第二次世界大戦でドイツに勝てたのは、バクーの石油があったからとも言われましたが、

無計画に採取されたため、荒廃してしまいました。しかし、実際にはカスピ海には石油が残っており、旧ソ連邦解体後は多くの企業が石油契約やパイプライン建設をめぐるさまざまな攻防を繰り広げています。



国って何だろう？ 国境って何だろう？

① いまや、どんなことが起こるかわからない時代。もしも、日本がなくなってしまったら???
あり得ない!!?...いえいえ、旧ソ連邦ではあり得てしまったのです。

- ① もし、みなさんが国境を決めることができるとしたら、どんな風に決めますか？ 下の世界地図に線を入れてみましょう。どうしてその国境を決めたのか理由も含めて、グループの中で発表しあいましょう。
また、実際の国境（→P.5地図）と比べて感想を話し合ってみましょう。



- ② では、もし、「明日から日本はなくなります。現在の都道府県はそれぞれ国になります。」と言われたとしたら、
どんなことが起こると思いますか？ グループで話し合ってみましょう。

- ③ P.24の資料「旧ソ連邦崩壊の光と影」を読んでみましょう。2つの作業と資料を読んで、どんなことを感じましたか？感想を話し合ってみましょう。



国境の決め方

国境の決め方には大きく2つあります。

自然的国境: 山脈、河川、湖水、海洋などの自然によって定めたもの

人為的国境: 条約、民族、経線、緯線、道路など人工のものによって定めたもの

「国家」は、領域(領土・領水・領空)、人民、主権の3つの要素を持つものです。国境は、そのうちの領域を定めるもので、1648年のウェストファリア条約(ドイツ30年戦争の終戦条約)以降、主権国家は明確な領域を持つこととなりました。

旧ソ連邦崩壊の光と影

1953年スターリンの死後、ソ連は大きく変わります。フルシチョフ政権のもと、戦後の経済復興も一段落し、南コーカサスの民族共和国は政治的に自立し始めました。フルシチョフが計画経済の失敗で失脚したあと、ブレジネフ政権は、中央の統制を強化することで経済の効率化を図ろうと、民族共和国の指導部の入れ替えをもくろみ、それがかえって民族主義者の活動と呼び覚ます結果になってしまいました。そうした地方分権の流れを再び中央の統制にもどし、経済の活性化を図ろうとしたのが、ゴルバチョフのペレストロイカです。ペレストロイカとは「再構築(改革)」を意味し、グラスノスチ(情報公開)とともに、ソ連政権を民主化する改革運動を指します。

このペレストロイカをきっかけに共産主義イデオロギーが崩壊し、封じ込められていた民族意識がわきおこり、各地で民族対立が表面化しました。南コーカサスでも、ナゴルノ・カラバフ紛争(アゼルバイジャン)(→P.25)、アブハジア紛争(グルジア)、南オセチア紛争(グルジア)などが起こり、今なお未解決です。また、北コーカサスでもチェチェン紛争などが起こっています。こうした紛争を乗り越えて、1991年ソ連の崩壊に伴い独立したアゼルバイジャンなので、日本人から見ると「独立できてみんな喜んでるのだらう」と思ってしまいがちですが、必ずしもそうではないようです。

社会主義体制の旧ソ連では、一部の特権階級をのぞいてみんな平等で、働かなくても生活は保障されていました。もちろん、そのことにより、労働意欲は低下し経済は非効率、常に物が不足し、日常品を買うためにも行列に並ばなければなりませんでした。最低限の生活はできたのです。独立してからは、石油関連のビジネスや外国企業に勤める一部の人たちはどんどん富を蓄えています。多くの人は生活苦にあえぎ、格差がどんどん広がっています。また、旧ソ連時代、汚くてゴミが散乱していたアゼルバイジャンの町は一斉に清掃され、露天商なども撤退されました。それが人々の職を奪う結果にもなりました。さらに、旧ソ連時代は社会保障が充実しており、年金は潤沢、教育費や医療費は無料でした。多くの場合、住宅も与えられました。とりわけ、とても質の高い教育が提供され、優秀な生徒、学生には国家から、家族を養えるだけの奨学金が与えられました。現在、アゼルバイジャンでも義務教育は無料ですが、教科書や教材が高かったり、学校に着いく服が買えなかったり、子どもを労働力として使ったり、教師の給料が安く副業をするなどの理由で、教育のレベルはかなり低くなってしまいました。

アゼルバイジャンでは、政治的には、紛争の未解決などで反ロシアの感情をもちながら、一方で旧ソ連時代を懐かしむという複雑な感情が渦巻いているのです。

国って何だろう？ 国境って何だろう？

20世紀の終わりは、ソ連の崩壊や東西ドイツの統一など、国の概念が変わってしまいそうな大きなできごとが続きました。現在、世界で起こっている対立は、国家同士の戦争というよりは、民族同士の紛争がほとんどです。その一方で、ナショナリズムがどんどん進んでいる国もあります。日本では、1990年の入管法改正により、在住の外国人の数が急増し、「多文化共生」「多国家共生」ではなく、が盛んに言われています。さらに、世界の国々はいろいろなところでつながっており、地球的課題(グローバルイシュー、→P.29)といわれる一国だけでは解決できないような課題も深刻になっています。

さて、みなさんにとって、国とは何でしょう？ 国境とは何でしょう？



ちょっとブレイク



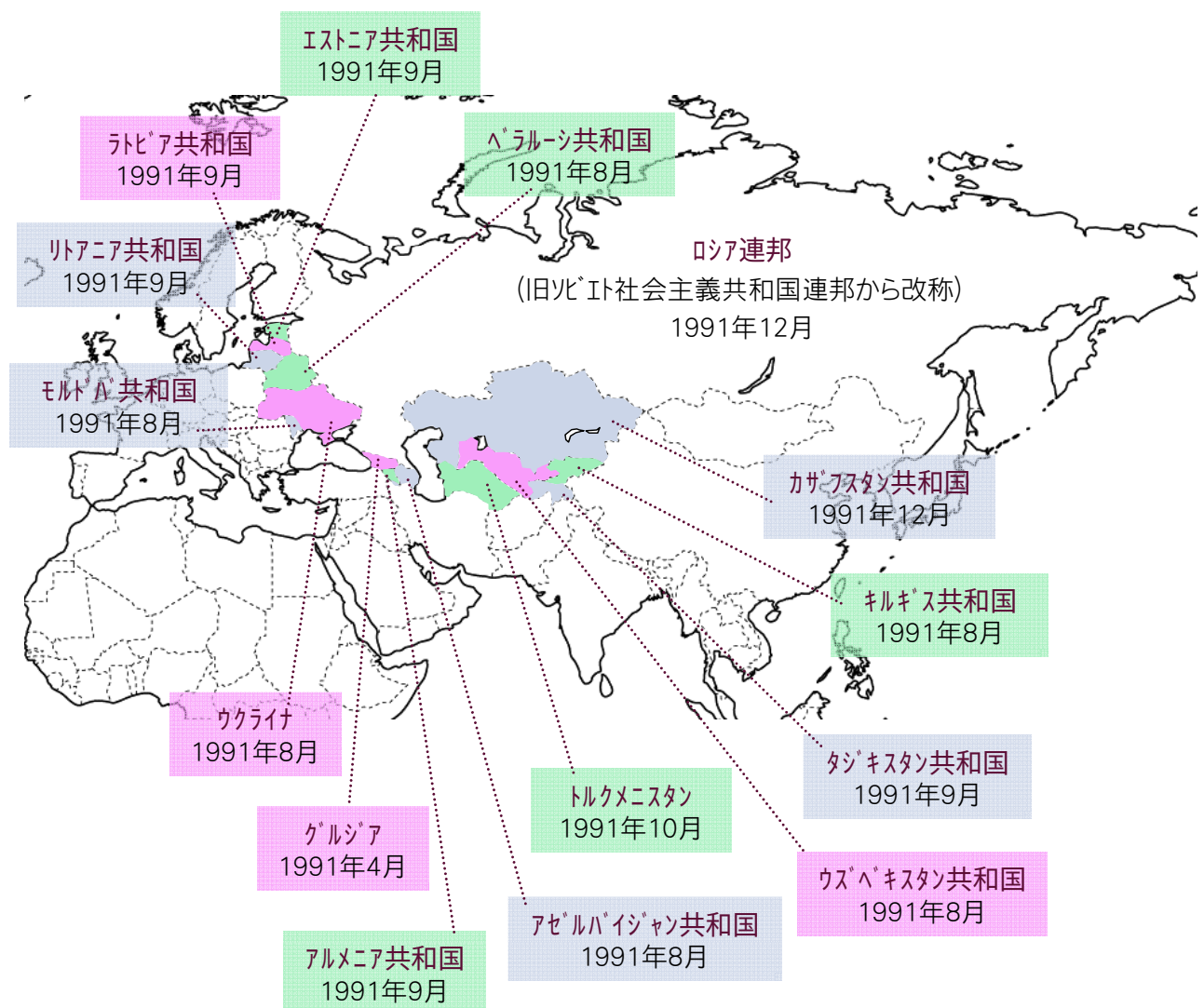
未承認国家ナゴルノ・カラバフ共和国とナヒチェヴァン自治共和国

ナゴルノ・カラバフもナヒチェヴァンも、アゼルバイジャン領でありながら、アルメニア人が多く住んでいる地域です。そのため、ソ連成立の時代にも、アルメニアは両地域をアルメニアの所属とするよう要求していましたが、スターリンの対トルコ政策により、両地域はアゼルバイジャン領とされました。アゼルバイジャン人が、トルコと同じテュルク語系民族だったからです。

1991年のソ連崩壊をきっかけに、ふたたびナゴルノ・カラバフとナヒチェヴァンをめぐって、アゼルバイジャンとアルメニアは対立状態になり、紛争へと発展しました。(ナゴルノ・カラバフ紛争) 1994年ロシアの仲介により停戦しましたが、国境付近では今でも銃撃戦などが起こっています。ナゴルノ・カラバフは事実上独立しましたが、どの国家や国際組織からも公式な承認を得ておらず、「未承認国家」と言われています。

ナヒチェヴァンは、ソ連時代には鉄道でアゼルバイジャンと行き来できていましたが、ナゴルノ・カラバフ紛争以来、アルメニアが国境を封鎖し、陸の孤島状態になりました。空路のみでアゼルバイジャンとつながっていますが、時に衝突が起こるなど、緊張状態が続いています。

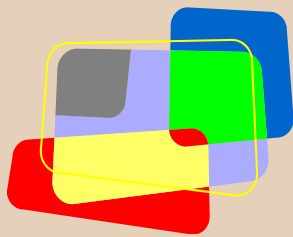
旧ソビエト社会主義共和国連邦から独立した国





第4章

そして未来へ

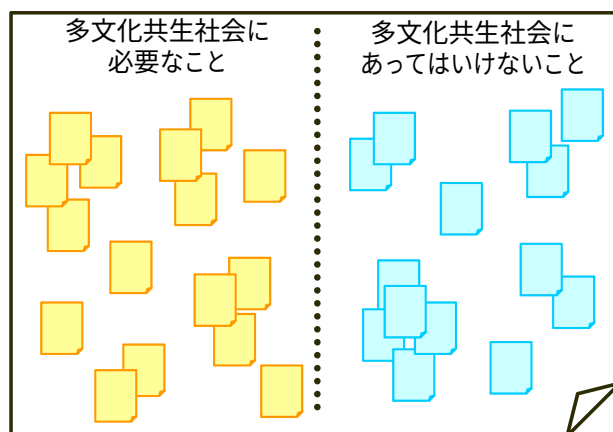


『多文化共生社会』ってどんな社会？

① 地球のみんなが一緒に生きていくということは
どうのことなのでしょう？



- 1 みなさんは、『多文化共生社会』ということばを聞いたことがありますか？
「多くの文化が共に生きる社会」というのは、いったいどんな社会でしょう？
「多文化共生社会に必要なこと」を黄色い付箋紙に、「多文化共生社会にあってはいけないこと」を青い付箋紙に書き出してみましょう。付箋1枚に1項目ずつ、できるだけたくさん書いてみてください。
- 2 4～6人のグループに分かれましょう。
各グループで模造紙を用意し、半分に区切ります。左側には「必要なこと」、右側には「あってはいけないこと」を貼っていきます。みんなの意見を共有するために、1人ずつ読み上げながら貼ってください。また、他のメンバーが似たようなものを貼った時はその近くに貼ってください。



- 3 模造紙にまとめたことをもとにグループで「多文化共生社会とは……な社会」という文章をつくってみましょう。
- 4 では、そんな社会を実現するために、私たちにできることは何でしょう？
一人ひとり、A4の紙に「私たちにできること7か条」を書いてみましょう。
- 5 一人ひとりがつくった7か条をもとに、グループで「多文化共生社会を実現するための7か条」にまとめ、右のように模造紙に書いてみましょう。
- 6 全員で発表し、感想を話し合しましょう。

多文化共生社会とは
な社会

そんな社会を実現する
ための7か条★

- ★1
- ★2
- ★3
- ★4
- ★5
- ★6
- ★7

号外！号外！20年後の新聞です



20年後の地域と地球はどうなっているでしょう？
どうなっているといいでしょう？

みなさんは新聞記者です。20年後の明日発行する新聞記事を書いているところです。

20年後はどんなニュースが新聞に載っているでしょうか？だれにでもわかりやすいことばでまとめてみましょう。

- 1 まずは、グループで新聞名を決めましょう。
模造紙を横にして半分に区切り、
新聞名と日付を書き込みましょう。

20xx年○月△日	20xx年○月△日

○
☆
新聞

- 2 20年後地域と地球がこんな風になっている
といいなと思うことを想像し、ニュース記事に
まとめてみましょう。模造紙の右半分に地域のニュースを、左半分に地球のニュース（あるいは、アゼルバイジャンのニュース）を書きます。

- 3 全員で発表し、感想を話し合ってみましょう。

- 4 さて、今の生活を続けていったとき、ニュースにまとめたような地域や地球が実現できると思いますか？
実現するために、自分がやろうと思うことを1つ決めて、グループで共有しましょう。

多文化共生社会

1990年の入管法改正により、主に南米からの日系人が多く日本に住むようになりました。近所や学校、職場に外国籍の方がいるのがあたりまえの状況の中でことばの問題、文化・生活習慣の違いからくるトラブル、子どもたちの教育問題、近年の経済悪化による雇用の問題などさまざまな課題が生じています。そうした課題に取り組む中で目指しているのが、「多文化共生社会」の実現です。この「多文化共生社会」とは、「国籍にも、性別にも、年齢にも、障害の有無にも関わらず、すべての人が暮らしやすい社会」と位置づけられています。愛知県が2008年にまとめた「多文化共生推進プラン」では、愛知がめざす多文化共生社会を『国籍や民族などのちがいにかわらず、すべての県民が互いの文化的背景や考え方などを理解し、ともに安心して暮らせ活躍できる地域社会』としています。そうした社会を実現するために、2006年には、総務省から各自治体に向けて「地域における多文化共生推進プラン」が出されました。その中では、特に外国籍住民も暮らしやすい社会を創るために、次のようなことに取り組んでいくと書かれています。

● コミュニケーション支援

多言語による情報提供、相談窓口の設置、日本語学習の支援など

● 生活支援

入居差別の解消、教育にかかる情報提供、進路指導、就業支援、就業環境の改善、外国語対応可能な病院・薬局等の情報提供、医療通訳者の派遣、健康診断・健康相談の実施、高齢者や障害者への対応、災害時の通訳ボランティアの育成、災害時の情報の多言語化など

● 多文化共生の地域づくり

地域住民への啓発、多文化共生の拠点づくり、外国籍住民の地域社会への参画推進など

地球的課題 (グローバルイシュー)

一国では解決することが難しい、人類共通の課題を「地球的課題」「地球規模の課題」「グローバルイシュー」といいます。大きく分けると4つ。これらの課題は、包括的かつ相互的に関連しています。

● 地球環境

先進国の経済成長などに伴うオゾン層破壊、地球温暖化、酸性雨、砂漠化、海洋汚染、ごみ問題、野生生物の絶滅など地球規模で発生している課題です。

● 貧困と開発

南北問題に伴う貧困。それによる食糧不足、飢餓、衛生面での問題、教育の問題、児童労働など子どもや女性など弱者にかかる問題、持続可能でない開発による環境破壊など。地球規模の構造的な課題なので、途上国だけでは解決できません。

● 平和と安全

核兵器や生物化学兵器など、国境に関係なく被害を及ぼす兵器の根絶、テロの問題、地域紛争の解決と平和維持、児童兵士の問題などです。

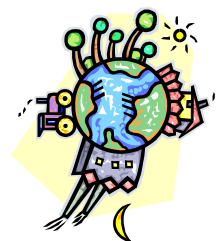
● 人権

民族差別や紛争などにおける難民の問題、貧困と開発のために過剰な労働を強いられる女性や子どもの問題、人間として最低限必要なものさえ保障されない極度の貧困の問題などです。

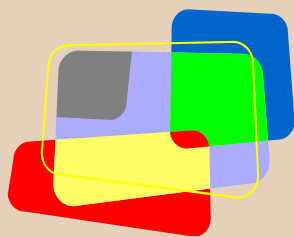
地域の課題と地球の課題はつながっている ～「持続可能な」社会を創るため～

地域の課題と地球の課題は別のものと考えてしまいがちですが、だれもが暮らしやすい「持続可能」な社会を創るという意味では共通しています。また、地域の課題を解決していけば地球の課題の解決にもつながりますし、地球の課題を解決しなければ、地域の未来もないのです。

地域の課題も地球の課題も「だれかが解決してくれる」ものではありません。途上国の多くの課題も原因を突き詰めていけば、わたしたちの日常生活につながってきます。わたしたち一人ひとりが地球の一員として、地域の一員として、自分の問題として、解決に向けて取り組んでいかなければ、次世代に課題を持ち越してしまうことになるのです。



参 考 資 料



目で見るアゼルバイジャン



青はこの国の民族色で空を表し、赤は独立を守ろうとする決意、緑は農業と森林、三日月と8稜星はイスラムの国であることを示しています。隣接するロシアとイランの国旗から色を採りました。

●人口●

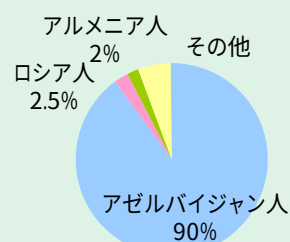
 850万人 (2008年国連人口基金)



 128百万人



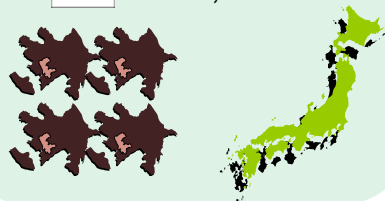
●民族●



●面積●

 86,600km²
(日本の約4分の1
北海道よりやや大きい)

 377,887km²



●言語●

公用語はアゼルバイジャン語
(トルコ語やトルクメン語に近い)



●宗教●

主としてイスラム教
シーア派

●気候帯●

北部: 温暖湿潤気候
南部: ステップ気候



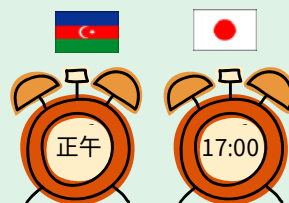
●通貨●

マナト (Manat)
1ドル=0.9マナト
(2007年平均推定値)



●日本との時差●

-5時間



●主要産業●

石油産業 農業



●日本との貿易主要品目●



石油および同製品



機械類および輸送用機器、鉄鋼

●一人あたりのGNI●



1,850米ドル (2006年世銀)



38,410米ドル (2006年世銀)



●在留邦人数●



33人 (2008年10月現在)

●在日当該国人数●

39人 (2009年2月現在)

●出生時の平均余命●



67年



82年



●都市人口の比率●



52% (2006年)



66% (2006年)

●5歳未満児の死亡者数●
(出生1000人あたり)



11人 (2006年)



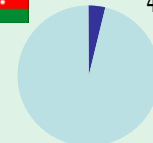
4人 (2006年)



●1日1ドル以下で暮らす人の比率
(1995～2006年)



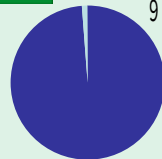
4%



●成人の総識字率●
(2000～2005年)



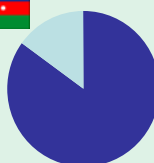
99%



●初等教育
純就学/出席率
(2000～2006年)



85%



●人口増加率●
(1990～2006年)



1.0%



0.2%



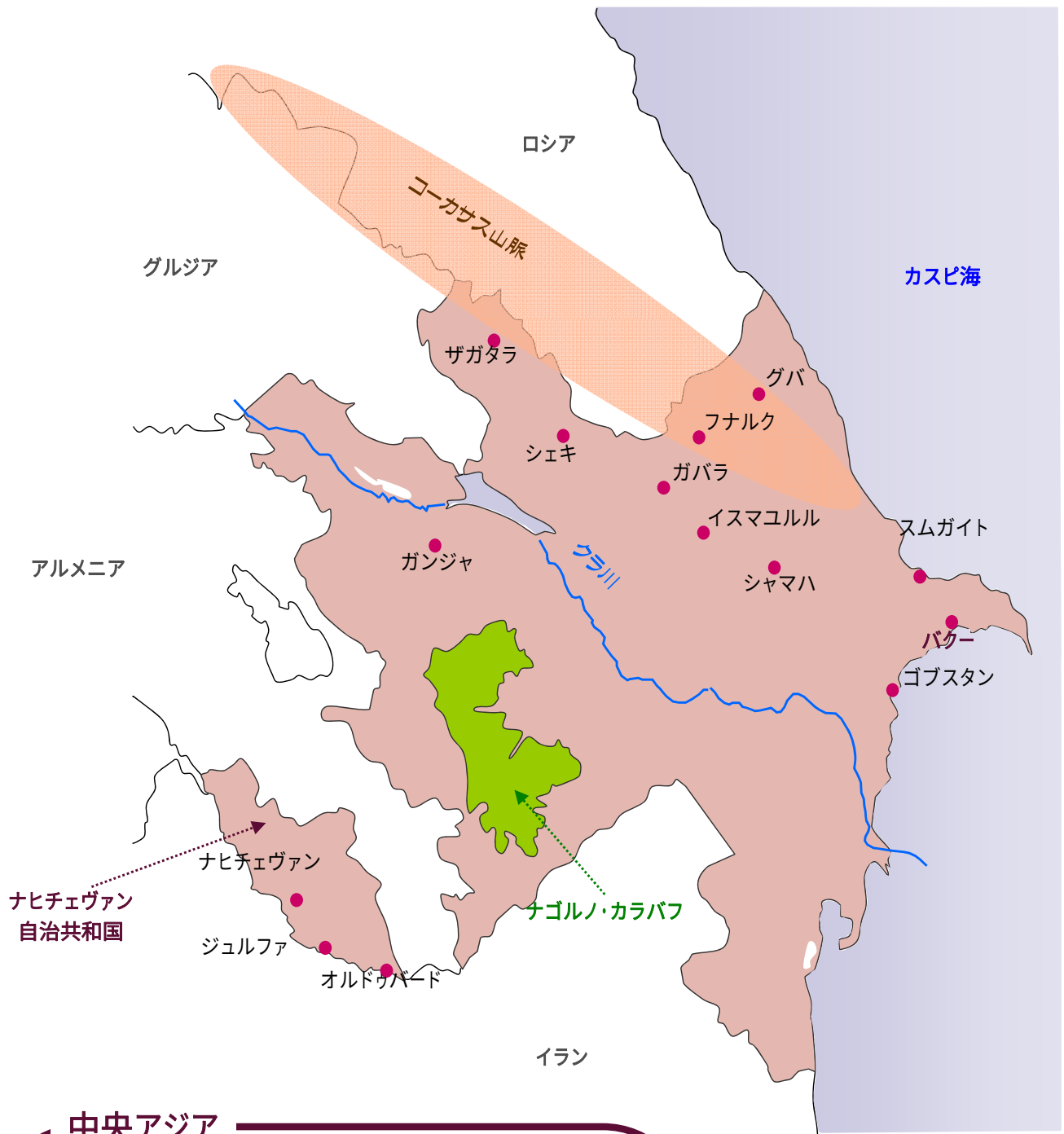
◆主要産業・日本との貿易主要品目・在留邦人数・在日当該国人数・外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」◆一人あたりのGNI・出生時の平均余命・都市人口の比率・5歳未満児の死亡者数・成人の総識字率・初等教育純就学／出席率・人口増加率：世界子供白書2008 (ユニセフ) ◆成人の総識字率：ナショナル・ジオグラフィックウェブサイト

アゼルバイジャン地図

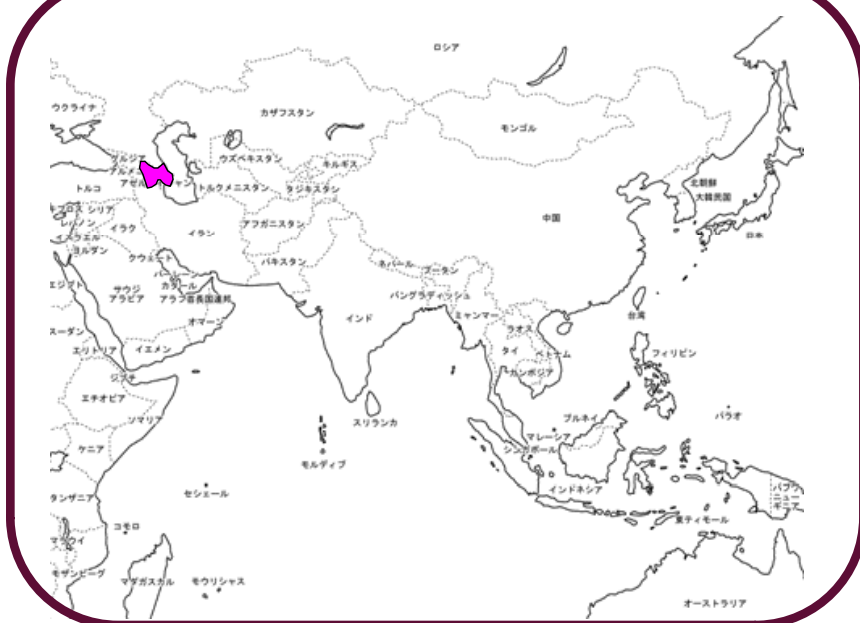


中央アジア





中央アジア





参考文献・データ等の出典

- 外務省「各国地域情勢」
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>
- 外務省「探検しよう! みんなの地球」
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyu/index.html>
- 総務省統計局「日本の統計」
<http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>
- 財団法人日本ユニセフ協会「世界子供白書2009」
<http://www.unicef.or.jp/library/index.html>
- 駐日アゼルバイジャン共和国大使館
<http://www.azembassy.jp/Japanese/inside/links/index.htm>
- バクー国立大学極東言語学科日本語講座
<http://www.geocities.jp/azerbajjancaspi/index.html>
- なんとなくアジア
<http://baikbaik.net/>
- 日本サンボ連盟
<http://www.j-sambo.jp/>
- 「コーカサスを知るための60章」
エリアスタディーズ／北川誠一、前田弘毅、廣瀬陽子、吉村貴之（明石書店）
- 「コーカサス国際関係の十字路」廣瀬陽子著（集英社新書）
- 「強権と不安の超大国・ロシア 旧ソ連諸国から見た光と影」廣瀬陽子著（光文社新書）
- 「シルクロード 中央ユーラシアの国々」（旅行人ノート）
- 「地球の歩き方 ロシア'08～'09」（ダイヤモンド社・ダイヤモンド・ビッグ社）
- 「世界を読み解く事典」船橋洋一（岩波書店）
- 「世界地図の意外な読み方」正井泰夫（青春出版社）
- 「最新・世界地図の読み方」世界情勢を読む会編著（日本文芸社）

ご協力いただいた方【敬称略】

- 奥村 諭

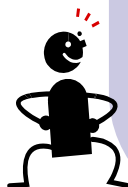


2008年度教材作成チーム

一宮市	田原市
長久手町	幸田町
扶桑町	

特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター
財団法人 愛知県国際交流協会





世界の国を知る  世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 アゼルバイジャン共和国 

2009年5月

発行

財団法人 愛知県国際交流協会

〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号

あいち国際プラザ

TEL: 052-961-8746 FAX: 052-961-8045

E-mail: koryu@aia.pref.aichi.jp

URL: <http://www2.aia.pref.aichi.jp>

印刷

サンメッセ株式会社

